

支援団体の枠超え力結集

石巻・仮設、被災住宅住民の健康と生活

現状報告とパネル討論



東日本大震災の仮設住宅や被災した住宅で暮らす人たちの支援活動を考える「石巻市健康・生活復興フォーラム」(実行委員会主催)が10月29日、石巻専修大であり、行政や復興支援団体の関係者ら約300人が参加した。行政と医療、福祉分

野で活動する団体が蓄積したノウハウを共有し、心の復興と支え合う社会の構築を目指していくことを確認した。「市民の生活の実情と復興への提案」の演題で5人が現状を報告。市被災市民生活支援課の庄司勝彦課長は市全体の状況

を説明し、県東部保健福祉事務所の平山史子次長と医療法人仁泉会石巻事務所の渡部哲也所長は、みなし仮設住宅で生活する住民の健康問題や居住環境について改善策を紹介した。

市社会福祉協議会さきえあい総括センターの北川進所長は応急仮設住宅、石巻医療圏健康・生活復興協議会代表で祐希ムクリニック石巻の武藤真祐院長は在宅被災世帯の課題を指摘。ニーズに応じた適切な支援や住民ネットワークの再生、孤立・孤独から派生する自殺・孤独死の予防対策

被災者の生活復興に向けて意見を申し合ったフォーラム。石巻専修大などを提案した。引き続き「市民の生活復興に向けて求められる力」をテーマに、報告者5人がパネル討論した。

農水産施設復旧を

東松島市復興向け県に要望

東日本大震災に伴う農水産業の復興に向けた東松島市と県の会合が31日、市小野市民センターであった。市、市議会、県東部地方振興事務所などから30人が出席。市側は圃場整備や津波

東松島市選管は31日、任期満了(2013年4月28日)に伴う市長選と市議選は定

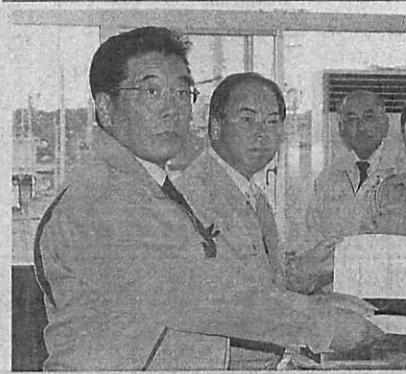
来年4月21日

復旧など10項目を要望した。市側は、津波で全農地約3000haのうち、ほぼ半数に当たる1465haが浸水した状況を説明。農山漁村地域復興基金総合整備事業による大曲、西矢本両地区の圃場

市議選の日程は、告示、21日、市議選は定

被災者の生活復興に向けて意見を申し合ったフォーラム。石巻専修大などを提案した。引き続き「市民の生活復興に向けて求められる力」をテーマに、報告者5人がパネル討論した。

住民の潜在能力を引き出しつつ、支援者が団体の枠を超えて連携し、経験や能力の結集を図ることで意見が一致。「支援体制全体を見る地域コーディネートが必要」との意見も出され、検討を進める。



祭文化市民川女 従来規模に戻る

女川町民文化祭(町民のため、町総合体育館 教委主催)は3、4の2日間となる。面日に開かれる。こと 展示の部(午前9時 して37回目だが、昨年 午後5時、4日は正 展示する。 3、4日 多彩に展示、舞台 祭文化市民川女(町民のため、町総合体育館 教委主催)は3、4の2日間となる。面日に開かれる。こと 展示の部(午前9時 して37回目だが、昨年 午後5時、4日は正 展示する。 3、4日 多彩に展示、舞台